

# 平成30年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	生物活用	単位数	2	履修学年・クラス	3年A組
担当者		使用教材	生物活用(農文協)				
学習目標	○園芸作物の栽培に必要な知識と技術を習得する。 ○加工や活用の実際を知識として身に付ける。 ○草花や作物の特性と栽培に適した環境を理解する。 ○品質や生産性を向上できる能力を体得する。						
学習方法	○園芸作物の活用方法について、その特性や栽培技術・活用を体験的に学習します。 ○園芸福祉に関する学習をします。 ○園芸作物を利用した園芸福祉(コンテナガーデン・ハーブ・ひょうたん・リース)について実践学習します。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	園芸作物と社会動物の特性及び園芸と動物を活用したセラピーの利用分野に関心を持ち、生活の質の向上や健康の改善の向上に積極的に貢献する態度を持っているか。				
	思	思考・判断・表現	園芸作物と社会動物の特性及び園芸と動物を活用したセラピーの特性や、その利用分野に関する基本的な知識と技術を活用して、生活の質の向上や健康の改善に関する諸課題を主体的に解決していく能力を発揮しているか。				
	技	技能	園芸作物の活用に必要な知識(花の活用法・ハーブの活用法)や園芸セラピーの特性、その活用についての基本的な技術や技能を身に付けているか。				
	知	知識・理解	園芸作物と社会動物の活用に必要な知識と技術、園芸と動物を活用したセラピー分野に関する木穂運的な知識を身に付け、生活の質の向上や健康の改善を図るための必要な園芸セラピーの活用方法を理解しているか。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期中間	園芸の活用と効果	・暮らしと園芸 ・園芸の効果 ・園芸の効果を活用する	○				[関]暮らしの中の園芸や園芸の持つ効果について、関心を持ち積極的に理解しようとしている。  [思]園芸の効果について理解を深め、積極的に活用できる能力が備わったか。また、野菜づくりの楽しみや栄養と機能性を理解し、食生活を改善することができる。  [技]種まきや栽培方法についての的確に行えたか。  [知]野菜の種類や特性について理解し、計画を立て積極的に取り組むことができる。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査
	野菜の栽培と活用	・野菜の活用 ①野菜づくりの楽しみ ②野菜の栄養と機能性 ・野菜の栽培計画と管理 ①野菜の種類・特性と栽培 ②プランターによる野菜づくり		○				
前期末	ハーブの活用	①ハーブの種類 ②ハーブの栽培環境 ③ハーブの活用方法	○				[関]暮らしの中の園芸や園芸の持つ効果について、関心を持ち積極的に理解しようとしている。  [思]草花の効果について理解を深め、積極的に活用できる能力が備わったか。また、草花の楽しみや機能性を理解し、生活を改善することができる。  [技]種まきの方法や栽培の方法について積極的に取り組みの的確に行えたか。  [知]草花の種類や特性について理解し、計画を立て積極的に取り組むことができる。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査
	草花の栽培と活用	・草花の特性と活用 ①生育の特性と活用のポイント ②草花の利用上の特性 ・花壇の活用と管理 ①花壇のデザイン ②花壇苗の栽培管理と作業の効果 ③コンテナガーデンとハンギングバスケット		○				

後期中間	園芸療法	・園芸療法とその特徴 ①園芸療法とは ②園芸療法の特徴 ③園芸療法の歴史と現状	○				[関]園芸福祉の持つ効果やひょうたんの歴史や種類について、関心を持ち積極的に理解しようとしている。  [思]園芸療法の特徴について理解を深め、積極的に活用できる能力が備わったか。また、ひょうたんづくりの楽しみを理解し、その作成手順を理解することができる。  [技]ひょうたんの作成やデザイン・絵付けを積極的に果たしたか。  [知]園芸福祉の歴史と現状について理解し、生活の質の向上や健康の改善を図るための活用方法を理解しているか。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査
	ひょうたんの制作	①ひょうたんの歴史と種類 ②ひょうたんの制作手順 ③ひょうたんの制作 ④ひょうたんのデザインと絵付け		○				
後期末	フラワーデザイン	・フラワーデザインとその利用 ・アレンジメントの基本とバリエーション ・フラワーアレンジメントの実際	○				[関]暮らしの中の園芸や動物の持つ効果について、関心を持ち積極的に理解しようとしている。  [思]園芸や動物の特性について理解を深め、積極的に活用できる能力が備わったか。  [技]リースの材料の収集や制作について積極的に取り組めたか。  [知]イヌの種類や飼育管理について理解し、実生活に積極的に取り組むことができる。	・確認テスト ・レポート ・授業観察 ・考査
	リースづくり	・リースとその作り方 ①リースの特徴 ②材料収集 ③クリスマスリースの制作		○				
	動物の活用	・イヌの飼育と活用 ①イヌの活用と効果 ②イヌの性質と行動 ③イヌの飼育と管理		○				